

令和4年度 第4回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:令和5年2月20日(月) 13時30分～15時40分

会場:瑞浪市保健センター 3階大会議室

出席者(敬称略): 渋谷典子、古澤辰広、浅沼克郎、野田順子、勝股文雄、中山千鶴、丸山良美、大竹悦子、渡邊喜美代、須藤茂美、鈴木実千江、河野通昭、安藤友美

〈事務局〉 まちづくり推進部長 小木曾昌弘、生活安全課長 工藤雄一
生活安全課人権啓発係 永田智恵、渡邊栄子
(株)サーベイリサーチセンター(SRC) 今井康平

議 事: (1)令和5年度 瑞浪市男女共同参画市民講演会(案)について
(2)令和4年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告(案)について
(3)令和5年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画(案)について
(4)男女共同参画に関する市民意識調査の結果報告について
(5)第3次みずなみ男女共同参画プラン策定に向けての提言書について

内容

(進行:事務局)

1. まちづくり推進部長あいさつ

(部長) 省略

2. 座長あいさつ

(座長)お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。11月にはみなさんのご協力を得て講演会が開催できました。講師の田巻弁護士からも学びの機会をいただき、お礼を伝えてほしいとのことでした。来年度も講演会を実施する予定となっております。今年度も、お友達をたくさん誘ってくださり嬉しかったのですが、また、みなさんのお力で、講演会をより広げていきたいと思っております。男女共同参画も含めて社会を変えていくというのは、たったひとりの力ではできないので、1人の100歩より、100人、1,000人の1歩で社会は移っていくと、今実感しているところです。ぜひ、お一人おひとりのご協力をお願いいたします。また、間もなく男女共同参画審議会も始まりますので、そういった場へのアイデアなども頂けたらと思います。今後もよろしくお願いいたします。

3. 議事

(1)令和5年度 瑞浪市男女共同参画市民講演会(案)について

(座長)議事1について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(座長)アンコンシャス・バイアスとは、みんな思い込みを持っているということで、思い込みに気づかず、発言をしたり、行動することによって、相手を傷つけたり、社会が良い方に発展していくのを阻害したりしているのではないかということが、ここ2、3年注目を浴びています。また、内閣府の男女共同参画局でも着目されています。思い込みに気づくことによって、相手のことを思ってから行動できたり、話しかけたりできるようになります。1時間や2時間の講演を聞いたところで解決はしませんが、きっかけづくりになるような講演会にしてはどうかと考え提案しました。タイトルにこの言葉を入れるかはまた考えます。「思い込みから脱出する」等も考えられると思います。思い込みから脱出して、可能性が広がる、新しい世界が開けるといような明るい内容にしたいと思っています。

(参加者)座長さんのお話を聞いていたら、はやく講演会のお話を聞きたいなと思いました。楽しみに

しています。

(参加者)内容は、すごく重く深い問題だと思うので、開催案内等については、市民の方が参加しやすいように、ポップに明るく伝えたいです。アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)というのは、日々、日常行われていることだと思います。会社等で、思い込みによって言う側、言われる方側も、両方の立場から考えられるような内容になると思って期待しています。重い内容ですが、みなさんの周りで起こっていることだということに気付いてほしいですし、それは、本当は解決されていく問題であり、我慢しなくて大丈夫だよということを伝えと、市民のみなさんが気持ちを楽しんで生きていけるのではないかと思います。それが双方に分かり合える場所だとしたら、すごく重要な話の内容だと思います。職場で上下関係があつたりすると思いますが、聞かなくてはいけないのは、言う側の上司だと思います。女性の就業の問題もそうです。また、地区でも女性区長が少ないという話がありましたが、女性でも区長を引き受けられるような環境をつくらないといけないので、そういう立場にある人が聞きに来てほしいです。

具体的な話をして、誰にも分かりやすく伝えることができればいいと思っています。

(座長)核心的な話だと思います。焦点をついていると思います。

いろいろ工夫したいと思っていますが、グループワークなどはどうですか。

ワールドカフェとは、机をみんなで囲んで、模造紙にみんなが気付いたことを文字に起こしたり、みなさんの意見を聞いて回る、カフェのような場所をつくるというようなことです。

(参加者)アンコンシャス・バイアスという言葉は初めて聞きましたが、分かりやすい言葉で表現したほうが良いと思います。

(座長)世代を超えて、両方の立場で知っておくと、お互いに分かり合えたり、態度とか発言等に気を付けようかなという展開になっていくのではないかと思います。

(参加者)この講演会の内容でとても良いと思っています。職場や学校等は変わってきていると思いますが、地域社会等、組織であるようでないようなところでは、無意識の思い込みがあることで、なかなか変わらないと思っているので、このテーマに賛成です。

(座長)企業や自治体等では比較的取り入れられているのですが、地域等では、そういうことを知る場がなかなか無いので、地域の人を誘って来ていただけるように、地域の方が参加してみようと思えるテーマやトピックスをつくっていったら良いと思います。

(参加者)アンコンシャス・バイアスに関わるテーマで話してもらえるのはありがたいと思っています。言葉自体は聞いたことがありますし、インターネットで調べれば、なんとか理解できるところもありますが、言う方も言われた方も、お互いにバイアスがかかっている可能性があるなと思います。講演会にあたり、チラシ等も作成すると思いますが、分かりやすい言葉で表現し、これなら聞いてみたいと思えるようなタイトルがついて、サブタイトルのような形で「アンコンシャス・バイアス」とつけてもいいのではないかと思います。いまや、使わずには通れない言葉かもしれなせんので。聞いてみたい、行ってみたいと思えるような内容のチラシができると良いと思います。これは、計算で理解できる問題ではなく、心の問題なので、そこのところは理解してもらうのは難しいのではないかと私は思います。

他に何かありませんか。

<問>

(座長)他に質問がないようですので、議事1は承認されました。

(2)令和4年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告(案)について

(座長)議事2 について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(参加者)男女共同参画というのは難しいですね。

(参加者)男女平等が望ましいと言っても、本心では分からない部分があり、深い話だと思います。幼いころからの家庭の教育が必要だと感じます。この会議でも、子育て中の方等若い方にも参加していただけると良いと思います。

(座長)他に質問はありませんか。

<問>

(座長)他にご質問がないようですので、議事2は承認されました。

(3)令和5年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画(案)について

(座長)議事3について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(座長)ご質問がないようですので、議事3は承認されました。

(4)男女共同参画に関する市民意識調査の結果報告について

(座長)議事4について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(参加者)項目1 男女平等に対する意識について、依然として「男性優遇」の意識が高いです。

P19の7評価点でみると、平等が点数3とし、数字が大きくなるほど、男性が優遇されているというものです。⑥政治の場や、⑦社会通念・慣習・しきたりは、点数4を超えています。②学校教育の場では効果が出ていると思います。この高い数値をどう下げるかが今後の課題であると思います。

すべての分野で平成29年度より数値がダウンしているのはなぜでしょうか。5年間の施策(アピール)効果がなかったのでしょうか。

また、無作為抽出市の意見に反映されるのか不安です。特定の個人を指定して、毎年とか2年毎に、男女共同参画がどう変遷していくかということの経過を見てやっていかないと、無作為調査だと成果等が見えないのではないかと思いますので、こういった調査も並行してやっていく必要があるのではないかと思います。経年比較の信憑性はあるのか疑問に思えました。市としても、費用対効果に見合った計画を緻密に作って成果を出していくことを考えていかなくてはならないと思います。

(参加者)項目7 人権について、表面化していないセクハラやモラハラがいっぱいあると思うのですが、幼いころからの教育はすごく大切だと思います。虐待等をするとどういう罪になるか等、そういうことも幼いころから教えていかないと駄目だと思います。

項目1 男女平等について、娘夫婦を見ていると、娘の夫は土日にも働いているし、娘はフルで働いています。子どもは2人います。月に1、2回でも土日に休みが取得できたり、子どもが小さいうちは、男性も何時までには帰宅させてあげるとい、男性側の会社の意識も変えていってもらわないと、若い女性が働き続けるというのは、なかなか難しいと思います。会社の人たちの教育が必要だと思います。

(参加者)項目1 男女平等に対する意識について、まだまだ男性優遇が強い中、学校教育では、平等意識が進んでいるのは良いことだと思います。

項目5 地域活動と社会活動についてですが、参加しない理由に関心がない人が多いということ、関心を持たれるような活動が必要だと思います。

無作為抽出で1,000通出して、443通の回答というのは、多いか少ないのか、データを信用してよいものか分かりませんでした。

(座長) 調査を請け負った事業所さんにうかがっても良いですか。

(SRC) 1,000名の方に無作為抽出して調査票を配布し、443名の回答数というのは、他の自治体と比べて特に少なくはありません。

報告書の P3 をご覧ください。標準誤差の範囲が載せてあります。統計学的に95%の信頼度があれば、調査は統計学的に問題が無かったという証明になります。今回の調査が、意味のない結果であったことにはなりません。

(座長) 地域は割り振っていますか。それとも人口比で無作為抽出したのですか。

(SRC) 人口と地域、性別も含め、均等で割り付けした中で配布させていただいております。

郵送のみの調査なので、20代等の若い世代の回答が少なかったかもしれません。近年は、WEBと併用する自治体も増えてきていますので、次の調査時にはWEB併用を検討するのも良いと思います。

(参加者) 平成29年度と令和4年度の抽出の条件は変わっていますか。

(SRC) 成人年齢の引下げに伴い、対象年齢を20歳以上から18歳以上にしました。市全体を統計的に見て全体的にどう変わったかという調査ですので、年齢幅を変えた程度で、同じ条件で調査しています。

(参加者) 項目11 その他 の自由記入について、読んでみると泣けてきます。「その年代にしか分からない」という男性の意見や、「女性で働きたいと思って引っ越してきたが、これから出産したい」というと、雇ってもらえないのではないかと思った」という意見を読んで、自分では分からない思いなどが伝わってきて、今のお母さんたちは大変だなと感じました。職場で育休が取れないから、子どもを諦めている人が絶対いると思います。当事者にとっても、会社にとっても損をしない制度が必要です。社会制度の仕組みが変わってほしいと思います。

また、記述から、男尊女卑的な考え方は、年々薄れてきていると思いましたし、若い年代ほど男女平等と感じていることが分かりました。

今後、子育てをしている人や、これから出産したいと思っている人の声も聴いてみたいですし、主夫をしている方や、男性が家で親の介護をしている方のお話が聴いてみたいです。

(座長) 子の看護休暇があるのを知らない人がいます。法律で決まっているが、雇っている方も雇われている方も制度を知らないのです。周知していくべきだと思います。

(参加者) 項目11 その他 の自由記入に感動しました。1,000人アンケートは不毛、アリバイ作りとか、市のレベルはこんな程度かという、諦めというか厳しい意見がいくつもありません。また、子育てに奮闘していることが書いてあってすごいなと思いました。そういった厳しい意見は、ここまで書いてくださるということは、それだけ関心があって、まだ期待しているのだなと思いましたので、男女共同参画の正しい理解をしていただけるように、確実な方策、一步一步前に前進できるようなことに取り組んで、広報啓発活動をして、こういう厳しい貴重な意見を頂いた方に、少しでも協力してもらえるようなことができると良いと思いました。

項目1 男女平等に対する意識について、「男性優遇」という意識は以前からあったが、コロナ禍で顕在化したように感じます。学校教育は効果が出ていると思うが、現実社会に出たとき、男女不平等の壁にぶつかり、諦めてしまう人も多いようです。女性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念・慣習・しきたりなどを改めるための具体的、実効的な方策を一つでも多く考えていけたら良いと思います。

項目2、3、4に関わる場所ですが、男性は仕事、女性は家庭という意識に変化が出てきていることは非常に良いことだと思います。ただ、家庭生活における具体的なことでいうと、食事の支度、掃除、子どもの世話、洗濯、自治会や PTA のことなどは、男女の不平等感が依然として存在して

います。男女ともにスキルが身についているかということと、それをやろうとする意志があれば解決できるのではないかと思います。

項目3 家庭生活・結婚・家庭観について思ったことは、「仕事と生活のバランス」は大切に、柔軟性のある働き方が選択できる社会への期待は大きいです。ワーク・ライフ・バランスのとりやすい社会制度や企業制度、まわりの人々の理解と協力の得やすい社会づくりが必要だと思います。仕事も家庭も生活もすべて100点でなくても良いと思っていて、上手に手を抜くときもあっても良いと思います。介護等もあると思いますが、今は、介護保険制度等を活用し、プロの手を借りるのも大事なのではないかと思います。

項目9 防災の分野について、地震というと、トルコで発生した大地震の惨状を見ていて、地震大国である日本は他人事ではないと思いました。トルコの場合、宗教上の問題やアルカイダ、クルド、シリア反政府勢力など人災もプラスされているように思います。市の防災担当はもちろんのこと、全市をあげて日常からよく考え備えておく必要があります。

(参加者)項目5 地域活動・社会活動について、私は他県で働いていたが、定年を迎えて、地域に恩返しするつもりで地域活動をやっているほうだが、地域活動に参加する人が減ってきたように思います。地域の方と話していると、精神的な余裕というか、思いやりというか、少し寂しいものを感じていて、その中で意識を変えていくには、行政の役割も重要だと思います。

(座長)P126の地域活動を見ても、ひとつはコロナが原因なのかなと思います。対面での活動ができなくなってきて参加する人数も減っているということと、関心がないという人が増えてきているということに、少し危機感を持ちました。

(座長)項目8、10、11にとっても関心を持ちました。

項目8 性的マイノリティについて、社会全体の意識の高まりがデータへ反映されていると思いました。今回初めての設問でしたが、「性的マイノリティ」というのを、言葉として認識している人が多いということを知り、納得しました。3次プランでは、性的マイノリティについての的確な施策に繋がっていくのではないかと思います。

項目10 男女共同参画社会に関する施策について、の間30の回答ですが、社会全体の意識の高まりがデータへ反映されていると思いました。

P108の回答結果から、力を入れていくべき施策に票を入れてくださっているの、これを3次プランに活かしていくのが重要ではないかと思います。自由記入で書いてくださったことと施策がどう繋がっているかということを考えてみてはいかがでしょうか。

項目11 その他の自由記入(P133～P142)を読みながら、言葉にして書くということは大変なエネルギーを使いますから、こんなに書いてくださるということにすごいなと思いました。

P133の20代男性の意見から、子の看護休暇が周知されていないということが分かりますし、P134の30代女性の意見から、面接での対応が課題となっていることが分かります。

また、P140の60代の3人の方々の男性の回答に注目しました。これは、先ほどのアンコンシャス・バイアスとも繋がるのではないかなと思ったところです。先ほど、調査を請け負っていただいた事業所さんから、WEB調査のお話がありましたが、3次プラン策定後のプランの進捗状況について、市民とともに考える機会を持つてはどうでしょうか。機会があれば、若い世代の意識調査について、高校、大学と連携して、オンライン、インターネットで実施してはどうでしょう。ある自治体では、大学の先生と協力し、若い世代に、アンコンシャス・バイアスの調査を実施しています。そういうことも含めて、他の自治体の取り組み等も情報提供をしていけたらいいなと思っています。

(参加者)男女ともに、ワーク・ライフ・バランスについての意識と実情との間のギャップが結構ある気がしました。そういう点もありますが、女性の商品化についての意識や、介護は誰がやるのかというような意識については、男性の方の認識があまり無いのかなということが目につきました。

お子さんの教育が重要だと思いますが、親の認識や、おじいさんおばあさんの認識というのは、

子どもの考え方に大きく影響を与えたいと思います。ですので、学校だけで充分、教育だけで充分、職場だけで充分ということにはならないと思います。

ワーク・ライフ・バランスについて、仕事を探しているけれど、子どもが欲しいと言えないという話がありましたが、私は雇う側ですので、雇う側からすれば、すぐ辞められては困るわけで、労働者の立場からだけでなく、社会全体で考えていかなくてはならないと思います。

(参加者)項目2 家庭生活・結婚・家庭観について、若い世代ほど、価値観が自由だと感じました。結婚しても子どもを持たないという意識があるということで、日本の子どもたちがいなくなっていくます。それによって人口が減っていきますし、経済も成り立たなくなっていくので、少子化とともに男女共同参画を考えていかなくてはならないと感じました。

項目5 地域の活動・社会活動について、調査結果では無関心な人が増えているようですが、地域で生活している自覚が欠けてきていると思います。

項目6 介護について、女性が主にやっているということですが、男女平等とか男女共同という問題ではなく、介護すべき人は、人として、介護するという意識を持ちたいと感じました。

(座長)今のお話を聞くと、他の部署とも連携を取らないと難しいと思いますので、男女共同参画の担当部署のみだけで取り組んでいてはいけないと気づきました。

(参加者)アンケートは、主人に届いており、回答して返信していました。私に届いたとしたら、スマホで回答できるなら、隙間時間に見られるので回答すると思います。

項目1 男女平等に対する意識について、学校では、男女平等意識は高く、子どもたちに根付いていくのに、地域での平等意識が薄いのがとても問題だと思います。社会に出ると男女平等意識が薄くなってしまうのはもったいないです。

項目2 家庭生活・結婚・家庭観について、子どもがいらないわけじゃないけれど、結婚をすることに対するモチベーションが低いのだと思います。結婚したら、自由に使えるお金が無くなるので、結婚しないというのは分かります。この調査結果は正しいと思っています。介護も育児も、女性と男性が持つ生物学的な部分で、できることとできないことがあると思うので、女性は家庭で家事をしながら、仕事をしながら等、いろいろできるのですが、男性は同時にいろいろな作業を行うのは得意ではないと思います。ですので、男性はいろいろできなくても得意なことをすれば良いと思います。お互いの特性を認め合えるような考え方が根付いていくと良いと思います。

(参加者)項目2 家庭生活・結婚・家庭観について、P44.④ゴミ出しは、「家庭での男女の役割についての現状と理想」は差が無いと思いました。男性が優遇されているということですが、その時々々の家庭状況によって、役割が変わっていくので、一概にこれが良いというのは計れないと思います。30代、40代の頃は、家の掃除はやっていなかったけれど、退職した今はやっています。男性が生活に困らないような給料があれば、家で子育てをしたいと思う女性もいると思います。今の世の中の雇用の形態が、徐々に給料が上がっていく時代ではないので、子育てをしたい人は、ある程度子育てに専念できるとか、キャリアを伸ばしたい人はキャリアアップして勤められる、というような形になると良いと思います。少子化と言われているが、今の若者世代が就業できるような環境が整っていないと思います。テレビの番組で、大学生にアンケートをとっていました。奨学金の返済が40歳まで続くので生活設計ができない、結婚できないと回答している人が多いいました。また、闇バイト等が問題になっていますが、それだけ雇用が無いということなのかもしれません。男女共同参画の問題だけではなく、いろんな団体の課題でもあるのではないかと思います。

(参加者)項目1 男女平等に対する意識について、学校教育の場では、男女平等であると実感して働いていると、働きやすさ、人間関係等も良好になり、そこは満足できる職場なのではないかと読み取りました。職場、地域活動では、日本の社会が、仕事優先、企業中心という考えが根強く、それを支えているのは男性という意識が強いと感じます。

項目2 家庭生活・結婚・家庭観について、問4-①男性は外で働き、女性は家庭を守るべきで

あるという問に対して、18～19歳の男女とも、「そう思わない」が100%でした。また、問4-⑥結婚しても相手に満足できない時は離婚してもよいと読み取れます。この設問の回答から、若い世代の考え方を知ることができました。

項目5 地域活動・社会活動について、今回は前回より4.1%と20.3ポイント減少しているようで残念です。コロナの影響とも考えました。年齢別の女性70代が最も高くなるのは、理解できます。男性の20代が最も高いことが意外でした。自由記述では厳しい意見もありましたが、地道な啓発と幼少期からの教育が大切なのかなと思います。

(参加者)項目4 女性の働き方について、及び項目5 地域活動・社会活動について、看護休暇など法律で決められているのに、実際の会社では皆無に近いということで大変だなと思います。正規でできるだけ働いてほしい中小企業が多いですが、子どもが熱を出したり、学校のことで用事があったりすることを思うと、働くのは本当に大変なことだと思います。女性はパート、男性の給料に頼るという生活から抜け出せないのではないかと思います。

項目5 地域活動・社会活動について、最近はお好みで参加する方が多い気がします。みんなで参加を促していくしかないと思います。何回も何回も足を運んで参加してもらうように促していく必要があると思います。

(座長)この調査結果を、他の課の方たちにも手渡して読んでいただけると良いですね。男女共同参画の部署だけで止めてしまつてはもったいない調査だと思います。全庁的にみなさんに知らせていただくということで良いでしょうか。

(事務局)調査票の報告書は、庁内で共有し、掲示板等にも掲載します。また、市のホームページにも掲載します。今の段階で、皆さんに見ていただき、最終的には製本し冊子としてお配りする予定です。

(座長)他にご質問・ご意見ありませんか。

<問>

(座長)ご質問がないようですので、議事4は承認されました。

(5)第3次みずなみ男女共同参画プラン策定に向けての提言書について

(座長)議事5について、事務局から説明願います。

(事務局) (レジュメに沿って説明)

(座長)何かご質問はありますか。

<問>

(座長)ご質問がないようですので、議事5は承認されました。

4. その他

(事務局)それでは続きまして、「4、その他」に移ります。

人権啓発冊子「ちょっといい話12」の紹介

(事務局)本日の会議、全体を通してのご質問やご意見等、ございませんか。

<問>

(事務局)皆様におかれましては、今年度で2年の任期が終了します。地域及び各団体からの代表として推進会議にご協力いただき、誠にありがとうございました。また、来年度以降も、お引き受けいただいた皆様には、今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、令和4年度 第4回瑞浪市男女共同参画社会推進会議 を閉会し

ます。長時間にわたり、お疲れ様でした。お忘れ物のないよう気をつけてお帰りください。ありがとうございました。

閉会